

那覇西ロータリークラブ

国際ローター 2580 地区 創立 1962 年 6 月 4 日

2025 年 9 月 24 日 週報 第 2774

よいことの
ために
手を取りあおう

Rotary

UNITE
FOR
GOOD

Rotary

2025-26 年度 RI 会長 フランチェスコ・アレツツォ

地区ガバナー 中川雅雄
今年度会長テーマ

「Dignity」 & 「Engagement」

四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か 本日のプログラム
3. 好意と友情を 9 月 24 日 (水)
深めるか
 - ・点鐘
4. みんなの為に なるかどうか
 - ・ロータリーソング
 - ・日も風も星も
 - ・会長報告
 - ・幹事報告
 - ・立食

例会報告

第 2908 回 (2025 年 9 月 17 日)

出席報告

会員数	出席数	欠席数	出席率	訂正出席率
59 名	35 名	22 名	61 %	76 %

欠席会員

大城 (博)、儀部、宮内、福重、久保、三浦、照屋 (紀)
平尾、中村、南風原、高平、福本、稲嶺、大城 (美)
富島、川畑、大山、宮沢、池田、廣中、比嘉 (圭)
近藤会員

出席報告 9 月

会員数	3 日	10 日	17 日	24 日	平均
59 名	%	75%	%	%	%

ゲスト

井上結喜 (那覇西奨学生)

宮平貴子 (ゲストスピーカー)

太田 伸 (” ”)

会 長 丸橋弘和 副会長：中村 敦・小林 充
幹 事：江夏正浩

例会日 毎週水曜日 12 時 30 分

例会場 沖縄ハーバービューホテル

事務局 那覇市松山 1-1-14 那覇共同ビル 6 階

T E L : 861-7824 F A X : 861-7825

ニコニコ BOX (2025 年 9 月 17 日)

合 計 ￥4,000 累 計 ￥106,000

石垣 伸 U-18 W 杯 準優勝を祝して

大城純市 U-18 ワールドカップ野球大会日本チーム準優勝おめでとうございます。

沖尚の末吉投手の活躍に感激しました。

9 月度お誕生日祝い

新垣嘉樹 (9 月 7 日) 小嶺史枝 (9 月 10 日)

比嘉広明 (9 月 16 日)

(会長報告)

本日は、ロータリー月間「基本的教育と識字率向上」にちなみ、沖縄県の教育の現状についてご報告いたします。

県内には小学校約 300 校、中学校 150 校、高校 60 校があり、就学率は中学校 100%、高校 98% と全国平均並みに高い水準です。一方で、大学・

短大・専門学校への進学率は全国平均よりやや低く、学力面では特に中学校の数学・国語に課題があるとされています。県では学力向上対策を進めており、出席率や学習意欲の高さから改善傾向も見られます。

教育課題としては、相対的貧困率の高さが挙げられ、約 3 人に 1 人が貧困状態とされ、進学率や学力への影響が懸念されています。県では子どもの貧困対策推進計画、無料学習塾、就学援助制度、子ども食堂、スクールソーシャルワーカーの配置など多面的な支援が行われています。

また、離島教育にも注目が必要です。沖縄県には 39 の有人離島があり、小規模校や複式学級、遠隔教育の導入、下宿支援制度などが整備されています。ICT 活用やギガスクール構想も進行中です。那覇西ロータリーとしても、地域



に根差した教育支援の可能性を探り、今後の奉仕活動に活かしてまいりたいと思います。

最後に、国際大会参加記録の整理について、過去の参加履歴をご存じの方は事務局までご一報いただければ幸いです。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

(那覇西奨学生：井上結喜 様)



現在、琉球大学理学部 4 年生で、先月末に大学院入試を受験し、今週結果発表を控えています。夏休み期間中は卒業論文に向け、琉球列島の植物の形態調査を進めています。今後も研究に励み、学びを深めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

(卓話：宮平貴子 様)

皆様こんにちは。「沖縄を世界へ」という想いを胸に、株式会社クルビジョンを立ち上げた代表の宮平です。本日は、私の歩みと出会いの力についてお話しさせていただきます。



映画との出会いが私の人生を大きく動かしまし

た。大学時代に映画制作に携わり、カナダとの共同制作による初監督作品「アンを探して」がシンガポールの映画祭でグランプリと最優秀監督賞を受賞。その後、沖縄を舞台にした「カラカラ」を行政や地元の方々の支援を受けて制作し、第 36 回モントリオール世界映画祭で「世界に開かれた視点賞」と「観客賞」のダブル受賞を果たしました。これもすべて、素晴らしい出会いと支援のお陰です。2014 年には、映画を通じて子どもたちの「好き」を育てたいという思いから「子ども映画祭」を立ち上げ、7 年間続けることができました。芸術分野で活躍する若者たちもこの映画祭から育っています。

現在は「ヤンバル珍道中」というプロジェクトを通じて、沖縄の自然と文化を守る活動にも取り組んでいます。絵本作りやワークショップを通じて、子どもたちに楽しく学んでもらえる場を広げています。本日は、そんな出会いの連鎖から生まれた活動の一端をご紹介します。どうぞよろしくお願いいたします。

(卓話：太田紳 様)

皆様こんにちは。太田紳と申します。このような機会をいただき、心より感謝申し上げます。

私はヤンバル大宜味村出身ですが、長く大阪・東京で活動し、デザイン会社を経て、5 年前に沖縄へ戻り「ポリヘドラ」という研究機関を立ち上げました。



現在は主に 3 つの環境課題に取り組んでいます。1 つ目は、農薬残留による耕作放棄地の拡大と、それに伴う侵略的外来植物の繁殖です。ツル植物が在来種を覆い尽くし、森の生態系を脅かしています。環境省や地元自治体と連携し、テクノロジーを活用した防除活動を進めています。2 つ目は赤土流出問題です。集中豪雨により土壌が崩れ、海まで赤く染まる事例が多発しています。これを止めるために自然に近い方法で土壌保全を図る取り組みを行っています。3 つ目は教育連携です。沖縄最北部の辺土名高校で非常勤講師を務め、環境科の生徒と共にヤンバルの地域活性、環境課題に取り組む活動を展開しています。

さらに、ヤンバルや中南部も含め、今、沖縄は侵略的外来植物による被害が深刻化しています。そこで、今年 6 月には「侵略植物バスターズ」を結成し、ツアーガイドや地域の方々と協力して駆除活動を開始しました。今後も皆様と連携し、沖縄の自然と未来を守る活動を続けてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

(ヤンバルクイナのチムの物語 ホラホラホラーの巻)

主人公チムは探偵として、森の妖精キジムナー達が配達した 3 通の不思議な手紙を読み解いていきます。

手紙①アメリカハマグルマという外来植



物が畑を覆い尽くし、暮らしを破壊してしまったという悲痛な告白。手紙②ツルヒヨドリという外来種がマングローブの森を覆い、光を奪ってしまう様子。手紙③捨てられた観葉植物ポトスに覆われ、命の危機に瀕しているという切実な訴え。物語は「みんなの問題は、みんなで解決する」というメッセージで締めくくられ、外来植物の脅威と自然保護の大切さを伝えます。